



本は友だち

読書推進の活動を更に広げて



現地校の長い夏休みが終わり、来週から現地校の新学期が始まります。各ご家庭では、新学年の準備にお忙しくされていたことと思います。子どもたちも、進学し、進級し、現地校の新学年への期待と不安が入りまっじている日々かと思えます。一足先に授業が再開した補習校と現地校の両立の生活が始まります。子どもたちのがんばりを期待したいです。

「1分間スピーチがんばれ！」 さて、本日は、朝の読書日です。20分間の読書時間としてしっかりと定着してきました。家庭から、読みたい本をかかえるようにして登校してくる子どもたち、朝の図書室も本を借りる子で一杯です。今年もPTAから新刊図書を購入していただきました。子どもの成長の糧として「読書に親しんでほしい」は、大人の共通の願いですが、補習校にとっては、日本語力育成のねらいもあります。日本でも若者の読書離れは今も深刻ですが、マイアミ補習校の子どもたちは、読書好きが多い反面、学年が進むほど読書の機会が減り、読書離れが指摘されています。「子どもたちに読書意欲をもっと引き出したい」と先生方は8月職員会で相談し、今年度の読書推進活動の第2弾として、①「読書ちょうせんカード」を配布、3月までに小学部は20冊、中学部は10冊読破を目標にカードに記録し(幼稚部は、読み聞かせで) ②目標達成するごとに担任から「認定書」をもらう ③これまで取り組んできた読書記録カードから読書量豊かな生徒の表彰として「多読賞」と「熟読賞」に分けた読書大賞を3月に全校朝礼で表彰する等を決めました。先週の全校朝礼でこの話をしたあと、中学部の女生徒が「読書ちょうせんカード楽しみです。いつからですか」と尋ねにきました。本日カードが配られます。あの手この手と読書活動推進に向け、学校と家庭で力を合わせて取り組みたいと思います

また、先週は昼休み「不審者対応の避難訓練」が行われました。保護者の皆様方のご参加、ありがとうございました。実際におきてはならない事象の訓練ですが、備えあれば憂い無しです。安全確認後、全員がすばやく、全校朝礼室に集合し、園児も無言で並んでいました。その後講話をいただいた総領事館警備官の掛神領事から、お褒めの言葉をいただきました。そして、不審者への心構えとして「いかのおすし」の話を、自作のイラストを使われてわかりやすく、楽しく説明をしていただきました。保護者の皆様も授業日の入校証携帯など、警戒が今後も必要です。

注;「いかのおすし」とは「いかない…のらない…おおごえをだす…すぐにげる…しらせる」の頭文字です。



(講話の自作イラスト)